

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-719-4972 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

対前年度比マイナス1.3%

久しぶりの市政レポートとなりました。いわゆる『イクメン』、子育てを楽しむ余り、議員としての情報発信が疎かになってしまったと反省する次第です。

新年度の予算などを審議する「座間市議会平成30年第一回定例会」が23日に閉会し、一般会計予算案407億2,604万円余となる平成30年度予算などが可決成立しました。

その規模は表題の通り平成29年度と比較して1.3%、5億4272万円余の減となりましたが、主な要因は、50年ぶりに建て替えられた消防庁舎(13億8千万円余)の建設費や、県単位化により国保事業特別会計への繰出しが大幅(3億7千万円余)減となった事などにあります。

歳入の根幹である市税収入は対前年度比1.0%増となる185億4,213万円余を見込み、個人市民税分は2億511万円余の増で納税義務者数が増加する事が要因とされ、法人市民税分1,987万円余の増は、事業所数は減少傾向にありながら、個々の事業所の経営状況の改善等により、それぞれ増加となっています。

また、市たばこ税は前年度比989万円余増の7億467万円を見込んで計上されている一方、固定資産税は建物分の評価替えなどがあったため、3,778万円余の減額となっています。

歳出の特長は、子育て支援にあると個人的には感じていますが、子育て中の方々から多くの要望が寄せられていた「小児医療費助成事業」が、これまでの小6まであったのを中学校卒業まで拡充されている点、妊娠中から子育て期まで、相談をワンストップで対応する窓口「子育て世帯包括支援センター(ネウボラざまりん)」が、現在は上下水道局が所在する市役所2階部分に新たに設置される点、さらに、私も過去の議会で一般質問として取り上げ、提案していた児童ホームの保育時間についても、18時半ま

でから19時までの延長が実現します。

また、これまでに多くの議員が一般質問などで、周辺自治体と比較をされる懸念を示されながら拡充を求めている小児医療費助成事業が、本年10月から中学校卒業まで拡充される事で、県央地域へ引越しを検討されている世帯へのアピールになると同時に、更なる保育定数の拡大や休日保育や病児病後児保育など、様々なニーズに応えた保育の質の向上が求められることから、公立保育園の民営化、病児病後児保育や休日保育の実現などをテーマとして、私の一般質問では保育の質的向上・量的拡大について取り上げました。

また、閉会日には会派『自民党・いさま』を代表して賛成討論を行いました。来週辺りには録画中継も市HPでご覧いただけますので、ぜひご覧頂きたいと思います。

WAONで座間市を元気に?!

16日に開業した「イオンモール座間」は、店舗数164店舗のうち、関東初出店が4店舗、県内初出店が20店舗など、規模は勿論、内容についても県内最大規模との事です。

心配の声が多かった交通渋滞については、今のところは想定内であると感じておりますが、交通管理者たる県警と座間市(市道)、事業者で連携して更なる対応を進めていただく予定であり、正面入り口前や周辺の信号の歩車分離などについても要望してまいります。

そのイオンモール座間では「ご当地WAONカード」が3万枚限定発売されており、通常のWAONカード同様に、ポイントを貯めてお買い物に利用できる事に加え、利用金額の0.1%が座間市に寄付されることになっています。

普段の買い物の一部が座間市へ寄付される事により、座間市の貴重な財源が増えますから、ぜひ皆さんもお求めください!